

J R 東海 労 幹 関 西 地 「 申 」 第 4 号
2 0 1 5 年 8 月 1 1 日

東海旅客鉄道株式会社
新幹線鉄道事業本部関西支社
支社長 田中 守殿

J R 東海 労働組合新幹線関西地方本部
執行委員長 小林 國博

事故復旧訓練で発生した損傷事故に関する申し入れ

7月12日、大阪仕業検査車両所構内で開催された事故復旧訓練で損傷事故が発生した。列車併結の訓練中に救援カプラーに接触した際に発生した事故であるが、電源の切り忘れが原因であると言われている。

車両所構内での訓練は普段以上に安全管理が問われるが、当日、多くの管理者が参加していたにも関わらず発生した事故は、一歩間違えば重大な傷害事故に繋がっていた。

よって事故の詳細を明らかにし、再発防止のため下記のとおり申し入れるので、早急に協議の場を設定すること。

記

1. 復旧訓練で発生した事故の詳細を明らかにする事。
2. 救援カプラーのチェーンがもう片方のカプラーに触れたことが原因であると言われている。一歩間違えば重大な傷害事故に繋がっていた。詳細を明らかにすること。
3. 当日、多くの管理者が参加していたが、当日の訓練責任者は誰でどのような指導をしていたのか明らかにすること。
4. 事故復旧訓練の責任者は誰か明らかにすること。
5. 事故発生後の処置は、どの部署がどのような処置を行ったのか詳細を明らかにすること。
6. 事故後の処置によってこの編成（G 1 2 編成）は、何日間の帯泊を要したのか明らかにすること。
7. 会社は今日まで事故の詳細を明らかにしてない。この姿勢は隠蔽であり看過できない。明らかにしない理由を明らかにすること。
8. 早急に事故の詳細と対策を社員に明らかにし、ホームページにも掲載すること。

以上